

経営比較分析表

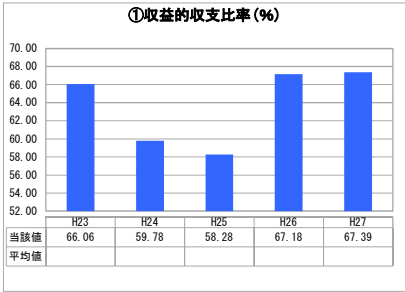
広島県 三次市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	12.57	100.00	4,914

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
54,622	778.14	70.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,831	3.38	2,021.01

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



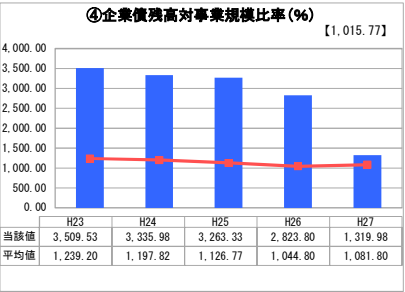
「単年度の収支」



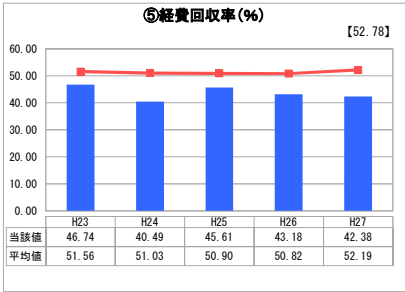
「累積欠損」



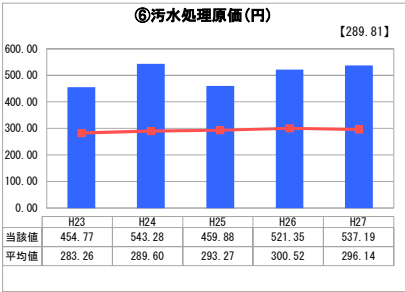
「支払能力」



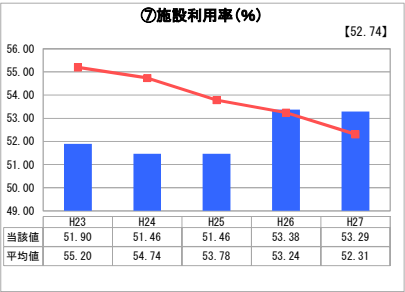
「債務残高」



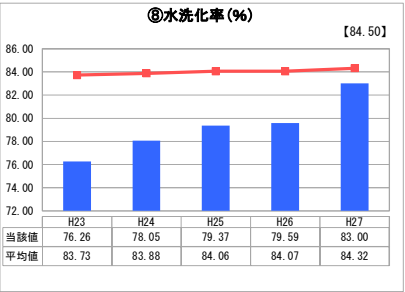
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

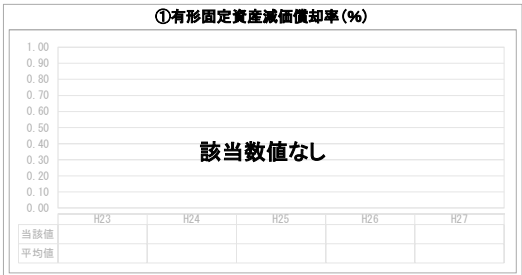


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

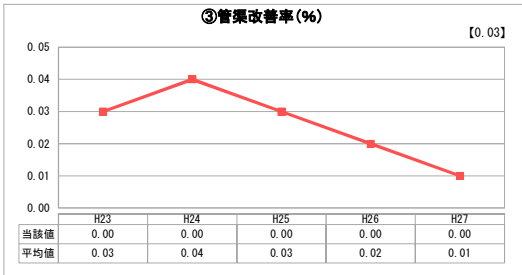
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

●収益の収支比率、企業債残高対事業規模比率
平成27年度は、収益の収支比率が6.7%程度で昨年度並みである。企業債残高対事業規模比率は、企業債残高の減少に伴い平均値に近い水準となり、改善傾向である。

●経費回収率、汚水処理原価
平成27年度は、経費回収率が昨年度に比べ0.8ポイント悪化し、汚水処理原価は昨年度に比べ15.8円高くなっている。主な要因は、汚水処理費の増である。なお、汚水処理原価が平均値より高い理由は、8市町村の合併により、現在12処理場を有しているためである。今後も、経常的経費の節減と適正な経費回収に努め、処理場の統廃合について検討する。

●施設利用率、水洗化率
平成27年度は、施設利用率が昨年度並みであるが、平均値に比べ1%程度高い。水洗化率は接続人口の増加により、昨年度に比べ3.4ポイント改善している。今後も加入促進を行い、水洗化率向上に努める。

2. 老朽化の状況について

昭和63年から管渠整備に着手し、平成4年から供用開始しているため、管渠の老朽管更新を行う時期ではないが、計画的な更新に努める。

全体総括

8市町村の合併により、現在12の処理場を維持管理しているため、汚水処理原価が高く、経費回収率が平均値と比較して低い状況にある。
今後は、公営企業会計化に向けて資産を整理し、施設効率の改善を行いながら、処理場の統廃合も視野に入れ、計画的な事業展開に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。